

宿舎和单身生活（日/中/韓）

2012.6.2

国際文化学部国際文化学科

10011019 木村 芽依

10011036 二之宮 冴美

今回のテーマは「寮と1人暮らしについて」です。日本では大学生になると一般的に多くの人は1人暮らしを始めます。しかし中国では、山東省の建てた寮に原則的にはいらなくてははいけません。このように国によって異なる大学生の生活を比較してみました。

【中国】

中国では1年生は必ず寮に入らなくてははいけません。2年生からも原則は寮ですが、実家が近ければ、実家から通うことも可能です。寮を出て1人暮らしをする場合は学校の許可が必要になります。寮が便利なこともあり、実家暮らしや1人暮らしをする学生はとても少ないです。

<寮生活について>

寮は基本的に5~6人部屋です。部屋の大きさは、私たちから見るととてもせまく感じますが、学生にとっては十分な大きさだそうです。

—GOOD—

- ・友達と話せる
- ・お互いに助け合える
- ・部屋代、生活費が安い

—BAD—

- ・テレビがない
- ・台所がないので料理ができない
- ・毎週水曜日に大掃除がある
- ・お風呂がない

お風呂は寮の近くに公衆浴場があります。時折シャンプーなどを片手に入っていく学生を見かけます。中の正確な構造はわかりませんが、外から「仕切りのないシャワー」が見えました。



【韓国】

韓国の学生は、日本の学生と同じように実家が近ければ実家、遠ければ1人暮らし、寮、ルームシェアで生活するそうです。また、今回は話を聞くことができませんでしたが、ホームステイをする学生も少しいるそうです。

<実家生活>

実家生活をしている女の子に聞きました。実家での良い点、悪い点は日本人学生が感じるのとほぼ同じで、「食事がある」「いつも部屋がきれい」「安全」がよい点としてあげられ、「通学に時間がかかる」「終電、門限がある」「遅くまで学校で勉強できない」等が悪い点としてあげられました。

<ルームシェア>

友達3人とルームシェアで1年間生活をしていた男の子に聞きました。日本では、ルームシェアは1人暮らしに比べると少ないですが、韓国では一般的だそうです。

—GOOD—

- ・学校が近い
- ・友達と一緒にだから楽しい
- ・協力できる
- ・ゆっくりした時間が取れる
- ・自由である

—BAD—

- ・家賃が少し高い
- ・ご飯がおいしくない
- ・お酒を飲みすぎる

<寮生活>

県大では寮生は少ないですが、韓国では最も多いそうです。寮には「1人部屋」「2人部屋」「3人部屋」があります。1人部屋は寮代が少し高くなるそうです。寮には、実家が遠い人などが入れますが、入るためには成績が関係するそうです。2年3年と学年が上がるにつれ、より成績が重視され寮に住むのが難しくなるそうです。寮には留学生も住むことができます。留学生の入寮には韓国人学生ほど成績は重視されないのが比較的簡単に入れるそうです。

—GOOD—

- ・図書館が近い
- ・セキュリティが良い
- ・スーパーなどが近くにあり便利
- ・食事がある
- ・部屋の設備がよい
- ・1階にはカフェなどもある
- ・洗濯機がいっぱいある

—BAD—

- ・外国人など文化が異なる人がいる
- ・エレベーターが少ない（寮は20階建）
- ・上下左右の部屋の音が聞こえる
- ・テレビがない（1人部屋には有る）

実家、ルームシェア、寮と3つの生活スタイルをインタビューし、最後に全員に「1人暮らしを含めた4つの中でどれが1番いいですか」という質問をしました。結果として「寮（1人部屋に限る）」が一番人気でした。韓国の1人部屋の寮は、日本の1人暮らしに3食付きというすばらしいものだと思います。1度生活してみたいなと思いました。

私たちは2人とも1人暮らしをしていたので、1人暮らしが主流ではない国の話は新鮮でした。1人暮らしの良さも見直すことができました。